

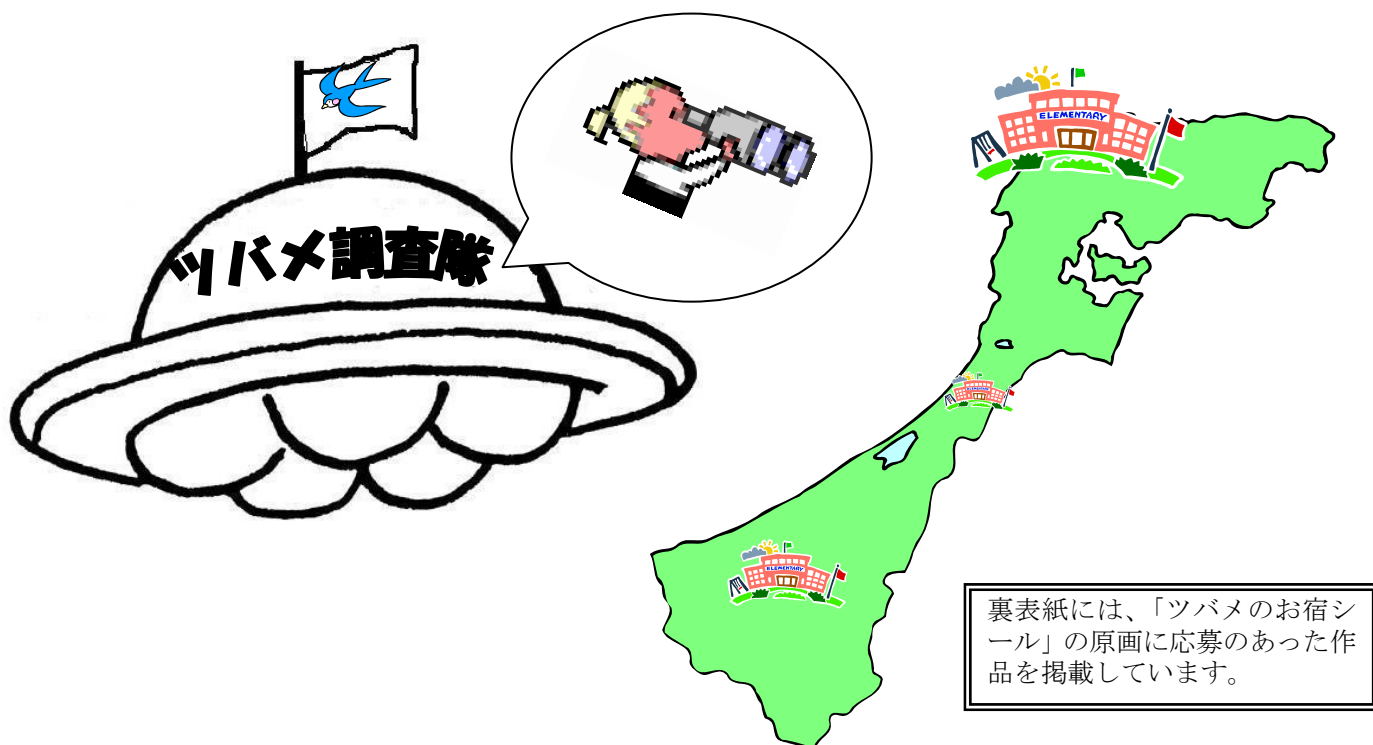
集まれ！ 石川のツバメ調査隊員 『子どもツバメサミット』

今年のツバメ調査を行った際、調査票の裏面に感想を書くスペースを設けました。

すると、約 13,000 人いる調査員の皆さんから、約 2,000 件の感想が寄せられました。

そこには、すばらしい感性と、するどい観察力、地域の皆さんとの強い結びつきが感じられる素敵なコメントがたくさん書かれていました。これらの意見を皆さんで共有するために、架空の会議「子どもツバメサミット」をこの紙面の上で開催しようと思います。報告書と併せてご覧ください。

「子どもツバメサミット」の中では、石川県で5月の愛鳥週間に「ツバメ調査」を行ってくれる児童の皆さんを、「ツバメ調査隊」と呼ぶことにします。



裏表紙には、「ツバメのお宿シール」の原画に応募のあった作品を掲載しています。

*この冊子は、第36回（平成19年度）ふるさとのツバメ総調査の際に作成したものです。

子どもツバメ サミット

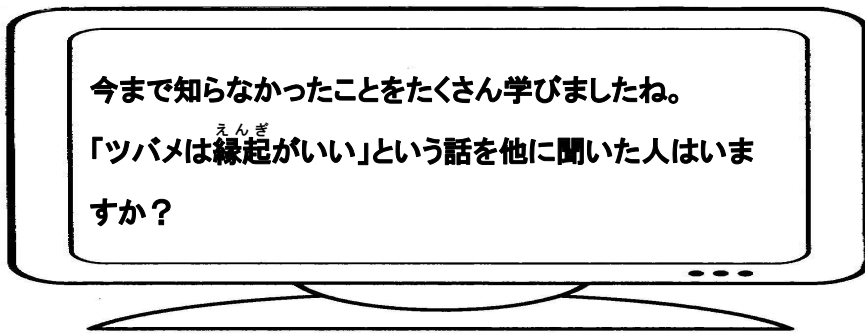


ただいまから、「子どもツバメサミット」を開催します。

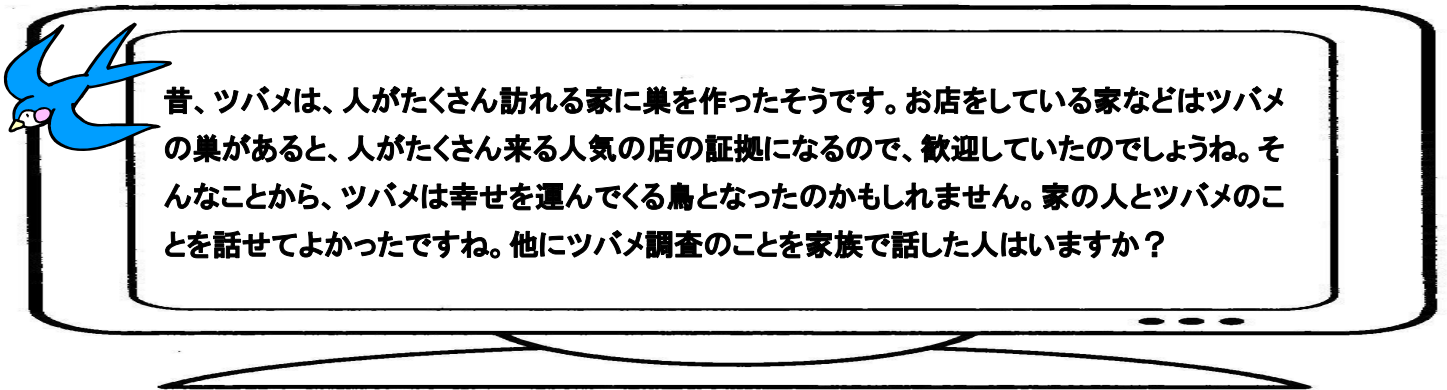
今年の5月にそれぞれの学校でツバメ調査を実施した感想などを話してください。

(*紙面には学校名を記載し、個人名は省略いたしました。)

宝達志水町立 相見小学校	ぼくは、ツバメを見ると、春だなあと思いました。
能美市立 辰口中央小学校	こんな身近にツバメがいるなんて知りませんでした。
津幡町立 萩野台小学校	「ツバメは一生懸命エサをやったり、タマゴを産んで子育てをしているのに、人間はどうして赤ちゃんをすてたりするのか。」と言ってくれた人もいたので、ツバメはすごいと思いました。
川北町立 橋小学校	ツバメも命があるんだなと思いました。
志賀町立 土田小学校	ツバメを見ると平和な感じがします。
中能登町立 鳥屋小学校	ツバメは頭がいいと思いました。親ツバメは子どもを守るためにがんばっていることが分かりました。
小松市立 第一小学校	ツバメの母が、子どもにエサをやるために、田んぼの周りや、茂みの周りを飛んで、虫を捕まえていました。その様子からツバメはかわいいなと思ったし、親ツバメはエサをやるためにがんばっているなと思いました。
小松市立 西尾小学校	ツバメが3月に来ているなんてびっくりしました。
穴水町立 穴水小学校	ツバメはとても元気で、子どもにきちんとエサをやっていました。私はとてもうれしくなりました。ツバメは田んぼのお米を守っている、とてもかっこいい鳥だと思います。
内灘町立 西荒屋小学校	ツバメ調査をして、ツバメを見たら同じ生きものということを知って、大切にしたいなと思いました。
内灘町立 大根布小学校	必死でタマゴを温めたり、周囲の様子を見回ったり、すごく子ども思いなんだなと思いました。夫婦でタマゴを守っているのが感動的でした。ちゃんと育ててほしいなと思いました。
白山市立 松南小学校	ヒナは、親がくるまで巣にかくれていて、親が来たら顔を出したので、かわいいなと思いました。
金沢市立 野町小学校	ツバメの巣を探すのは、難しく、足が痛くなったけどツバメを見つけると、「とびはねるくらい」うれしくなりました。私の調べたツバメが来年元気に戻ってきてほしいです。
輪島市立 河井小学校	ツバメのヒナは、「エサをもらおう。」「生きよう。」として口を大きく開け必死でした。
金沢市立 中村町小学校	「ツバメが来ると縁起がいい。」と言ってツバメをかわいがっているのが良いと思いました。



羽咋市立 羽咋小学校	「ツバメの巣はありますか？」と聞くと、巣は無かったけど、その人は、「ツバメは幸せを運ぶ鳥だ。」といていたから、不思議だと思いました。
川北町立 川北小学校	地域の人に「ツバメがいるとどう思いますか？」と聞くと、「ツバメがいると良いことがあるよ。」とっていたので、これからも巣をいっぱい作り、ツバメの子どもが、いっぱいいる町にしてほしいと思います。
能美市立 寺井小学校	ツバメは洗濯物や車にフンを落とすけど、町の人々はツバメを歓迎しています。なぜなら、ツバメが来ると縁起が良くなるという言い伝えがあるし、害虫を食べてくれるからです。僕も家にツバメが来たらうれしいです。
金沢市立 戸板小学校	私は、調査を实际してみると、全然なくて残念でした。地域の人々がツバメを歓迎する意見に大きく2つあり、1つ目は「フンが落ちてきて、イヤだけど自然なことだから。」です。2つ目は「ツバメがいると幸せになれるから。」という意見を聞いてびっくりしました。
金沢市立 新竪町小学校	ツバメは、「町の環境が良い」という「印」のような鳥だなと思いました。
七尾市立 小丸山小学校	ツバメが家に来ると、「幸福が訪れる。」と聞きました。調査をしたら、前よりもっと町が好きになり、ツバメと人との関係が深まり、ツバメの住みやすい環境にしていきたいです。
珠洲市立 若山小学校	ツバメは昔、「宝鳥」と呼ばれていたそうです。また、自然環境を人間より先にキャッチできる鳥だそうです。
津幡町立 井上小学校	家の人に「ツバメがいる家にはいいことがあるんだよ。」と聞かされ、前までは僕の家にはツバメがいたけど、僕が巣を壊してしまいました。自分はおろかだったと思いました。今度ツバメが来たときは歓迎してあげたいと思います。



七尾市立 小丸山小学校	おばあちゃんや、父さん、母さんは、「昔は、さがさなくてもツバメを見られたけど、今はあまり見かけないね。昔は、うちにもよくツバメが入ってきたのに。」とっていました。
能美市立 浜小学校	お母さんが調査した頃は、ツバメの巣がいくつもあつたし、町の中を飛んでいるツバメをよく見かけたそうです。今は、家に鍵をかけ、昼間は仕事で留守にする家や、家にいても玄関の戸を閉め切っている家がとても多いと思います。軒下にも巣を作れるような所はないし、本当にツバメたちにとって住みにくくなっていると思いました。

小松市立 稚松小学校	お母さんが調査した時は、半分以上の家にツバメがいたとっていました。これからは、ツバメも人もみんなでも共有できる、素晴らしい環境を作っていきたいです。
金沢市立 中央小学校	お母さんが調査したときは、お母さんの友達の家にはツバメの巣があったそうです。でもいまは、一羽も飛んでいません。ツバメの住みやすいところが減ってきているのかな・・・
金沢市立 緑小学校	私たちの地域は新しい家がたくさん建っているのでツバメをあまり見かけることはなかったです。お母さんが調査したときは近所にツバメがいたそうです。何年か先に、ツバメが私たちの町に巣を作って、この後にツバメ調査する人たちが見つけてくれるとうれしいです。
金沢市立 扇台小学校	おじいちゃんは、昔はツバメの巣が1軒に1つあるほどツバメが多かったと言っていたけど、今ではあまり見られなくなったと言っていました。ツバメのことをもっと知って、ツバメを増やすために、私たちにできることからやっていきたいです。
白山市立 蕪城小学校	平成17年のツバメシールがはってある家がありました。お母さんが金沢に住んでいた時には、「近所にツバメがたくさんいたよ。」と言っていました。
白山市立 北陽小学校	最近の家はツバメが住みにくいのか、意外とツバメがいなくて、巣も見つけられなくて残念でした。お母さんに聞いてみると、昔はもっとツバメがいたと言っていました。
羽咋市立 粟ノ保小学校	おばあちゃんは、ツバメがもっと納屋に来てほしい。去年のツバメがまた来るとうれしい。と言っていました。私の家はツバメのヒナが落ちないようにカサを逆さにつるしています。
金沢市立 大徳小学校	昔はツバメがたくさんいたけれど、最近は見なくなったよ。という声が多かったので、この地域にいたツバメはどこに行ったのだろうと少し心配になりました。いろいろな資料で調べるとツバメは人が出入りしている建物に巣をつくることや、稲などの害虫を食べてくれる鳥として、昔から大切にされてきた野鳥だということも知りました。これからは、ツバメも人も住みやすい環境を作りたいと思いました。
金沢市立 小坂小学校	ツバメが3羽、巣が2個見つかりました。お母さんが調べた時は、ほとんど見つからなかった。と言っていたので、この地域はツバメにとって、いい環境になったのかな。と思いました。幸運を運ぶ渡り鳥のツバメがどんどん増えるように努力したいです。

家族に昔のことを聞くことができよかったですね。減った話ばかりかと思いましたが、増えている地域もあることがわかってよかったです。さて、皆さんがこの調査をしてみて、ツバメについて分かったことがあったら発表してください。



能美市立 宮竹小学校	ツバメの巣があった家と無かった家では違いがありました。無かった家はいつもドアを閉めているようです。巣のある家ではドアや窓を少し開けていました。
輪島市立 門前東小学校	ツバメはきれいで、にぎやかなところにいることが分かりました。それに毎年来る家には、今までツバメが作った巣がいっぱいありました。
七尾市立 中島小学校	車庫や納屋などにツバメの巣がたくさんあるから、ツバメが巣を作りやすい場所がだいたい分かったような気がします。
七尾市立 北星小学校	ツバメのヒナを見ることができて良かったです。古巣も使っている巣もたくさんありました。巣があったところは、建物の中（納屋の中）が一番多かったです。
能美市立 福岡小学校	ツバメの巣が家の中にあるのにおどろきました。ツバメや他の動物たちを守っていかなければならないと思いました。調査をしてもものすごく感動しました。

七尾市立 和倉小学校	初めは、ツバメの巣は静かな場所にあるのかと思いました。でも、タクシー乗り場に11個も巣があってびっくりしました。タクシー乗り場には人がたくさん通るから無いと思ったのに、その逆で、ツバメは人がたくさん出入りするところに巣を作っていました。
野々市町立 野々市小学校	トックリの形の巣を見つけました。コシアカツバメの巣です。イワツバメも見ることができました。
津幡町立 津幡小学校	予想以上にツバメが多くてびっくりしました。そのわけを考えてみると、調査した地域は戸建てが多く、倉庫のある家もあり、車の通りも比較的少ないから、ツバメが住みやすい環境だからかな。と思いました。
津幡町立 笠野小学校	ツバメは種類によって、巣の形が違うことが分かりました。ほとんどの巣は納屋にあって、ツバメは納屋が好みなのかと思いました。
志賀町立 加茂小学校	今年が最後の調査だったけど、ツバメがいっぱいいて楽しい思い出になりました。家以外の建物に巣が多かったです。
志賀町立 富来小学校	ツバメの巣がバス停にできていてびっくりしました。観察していると、人がいるとツバメが中に入りにくそうなので、ツバメがいるときは、外で待っていようと思いました。
かほく市立 高松小学校	工場にたくさん巣がありました。工場は開けっ放しなのでツバメが入りやすいのかなと思いました。
金沢市立 浅野川小学校	子ども達は、大きな「ひし型」みたいな口をあけて「ピーピー」鳴いてエサをもらっていました。そのようすを見て、親はとっても、がんばりやだな。と思いました。
金沢市立 緑小学校	ツバメは毎年同じ所に来ているのではないかと思いました。また、調べた結果、木造の家や、納屋、車庫の中にツバメの巣がありました。
白山市立 松陽小学校	ツバメは古い家にいることが分かりました。また、ツバメの巣は、人がいるけど静かな場所にありました。使っている巣の下にはフンが落ちていることが分かりました。
かほく市立 宇ノ気小学校	近くに田んぼがあり、住宅がたくさんあるところにツバメの巣がたくさんありました。ツバメは田や住宅などがあり、虫が多く、環境がよいところが好きなんだということがわかりました。
加賀市立 作見小学校	いろんな人に「巣があるところを知っていますか?」と聞いたら、やさしくていねいに答えてくれました。ツバメは暗い場所で、田んぼの近くにいると言ってくれた人が何人もいました。調査した地域は田んぼがないのでツバメはいないと思いました。
加賀市立 山代小学校	ツバメの親子を見て、かわいいなあと思いました。ツバメがいろんな所にいました。ガソリンスタンドに巣を作っていたことがすごいと思いました。
小松市立 第一小学校	ツバメは6月にまた戻ってきて2回目の子育てをするそうです。ツバメのいる所は、住宅地の納屋や、車庫で、周りに田んぼや川がありました。また、蛍光灯の近くに巣がありました。
小松市立 今江小学校	地域の人は、みんなツバメを歓迎していてうれしかったです。今江町はツバメと仲良しの町だと思いました。すべての生きものが住みやすい環境にしていきたいです。
金沢市立 味噌蔵小学校	千葉県では、学校にツバメがいて、巣を作っていたので観察ができました。でも石川県はツバメが身近にいて、飛んでいる姿が見られるので「自然が多いなあ」と思いました。
内灘町立 西荒屋小学校	ツバメは、なんで日光のあたる場所で巣を作らないのかなあと思いました。巣の作り方が土とわらなどを使って作るなんて、どうしたらあんなにかたくなるかな。と思いました。
金沢市立 大浦小学校	私の調査した地域の特徴は、電線がありません。そのために、ツバメがとまって休んだりすることができません。ツバメが少ないと思いましたが、のき下に巣がありました。これからは緑がこれ以上なくならないようにみんなで考えたいと思います。



輪島市立 大屋小学校	ツバメの巣がある家はめったになかったです。でも巣がある所は、一つの建物の中にたくさんありました。ツバメは集団で巣をつくるのかな。と思いました。
小松市立 第一小学校	倉庫に巣を作った理由は、他の鳥からねらわれないようにするためと分かると、ツバメは頭がいいなと思いました。



皆さんは、地域の特徴とツバメが巣を作る場所や、周りの環境についていろいろ学んだようですね。さて、他の鳥からねらわれないようにするために倉庫に巣を作るツバメの工夫がありました。調査中にツバメの天敵などのことを聞いたと思います。発表してください。

加賀市立 山中小学校	カラスやヘビなどが生まれたヒナを食べると言うことを聞きました。かわいそうだと思います。ツバメの寿命は、約1年と聞いて、大人になる前に食べられてしまうから、短いのかなと思いました。
七尾市立 東湊小学校	ツバメがいなくて、古巣ばかりでした。ほとんどの家は、カラスやネコがツバメをおそったからだと言っていました。地域の方は、ツバメが来ないと分かっているけど、ツバメを待っていました。やさしい心にふれて調査して良かった。と思いました。
輪島市立 門前東小学校	私の家の、のき下に1つ巣があります。カラスがその巣を落としてしまいました。でも、ツバメ調査の時、ツバメは壊された家（巣）を一生懸命がんばって直そうとしていました。
金沢市立 不動寺小学校	巣のある家の人に話を聞いてみると、ツバメがタマゴを産むと、ヘビがすぐ食べてしまうと言っていました。そして、その死を悲しんでいる心のやさしい人たちがいるとわかりました。
金沢市立 伏見台小学校	古巣がある家の人に聞くと、カラスがツバメをおそってからツバメが来なくなったと言っていました。カラスも生きものなのでみんなで共有できる環境を作っていきたいです。
羽咋市立 邑知小学校	近くの電柱にカラスが巣を作っていて、そのカラスが子どもにエサをあげるために、ツバメのタマゴを奪っていったそうです。
七尾市立 山王小学校	ツバメ調査をして、ツバメは見つからなかったけど、自然と向き合うことができました。また、地域の方は、ツバメのいなくなった理由はカラスのせいだと言っていました。
中能登町立 滝尾小学校	ヘビが来てからツバメが家にこなくなった。という人がいました。カラスなどがツバメのタマゴを食べていると知って、かわいそうでした。
宝達志水町立 相見小学校	地域の方はツバメがねらわれないように見守っていました。なのに、カラスが巣を壊しているって聞いて、カラスが少し悪役に見えました。



どの地域でも、カラスやヘビがツバメの天敵だということがわかりました。ツバメはその天敵から身を守るために、人間の近くで子育てすると言われています。調査隊の皆さんが感じた不思議だな、なんでだろうと思ったことを発表してください。

内灘町立 大根布小学校	古巣のほうが多くて不思議です。地域の方は、「昔はツバメの巣がたくさんあって、ありがたいと言っているように、ツバメが家の前をぐるぐる回っていました」と言っていました。今は、どうしてツバメの巣が減ったのかなと思いました。
小松市立 芦城小学校	私たちの町にはツバメが1羽もいなくて残念でした。昔、古巣があった場所を町の人に教えてもらったので、行ってみましたが、ありませんでした。今年の6年生に聞いてみましたが、今年も無かったそうです。私たちの町に、なぜツバメがいないのか不思議でした。

調査隊の皆さんは、一生懸命調査をしてくれましたね。でも、どうしてもツバメを見つけることができなかった隊員も多かったようです。なぜ?と思ったことでしょうか。さて、ツバメが減った理由に心当たりがありますか？



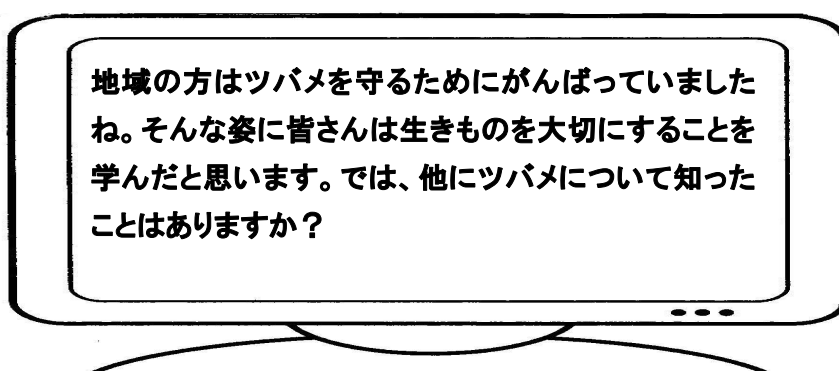
珠洲市立 若山小学校	ツバメは人間が生きていないと、生きられないことがわかりました。なぜなら、ツバメはカラスやヘビに襲われますが、人間がいるとカラスやヘビは近づかないことを知っているからです。だから、人口が減るとツバメも減るのだと思います。
七尾市立 山王小学校	昔、巣をつくっていても、「今は、窓を開けなくなったのでツバメがこない。」と言っていました。今は、巣を作れる場所がないのでツバメが来なくて残念だな。と思っています。
七尾市立 中島小学校	家を新しく建て替えたり、「納屋の戸を開けていないからツバメが入ってこなくなった。」と聞いたので、ツバメが巣を作りたくても作れないと思いました。
金沢市立 中村町小学校	ゴミ集積場所にゴミを入れず、カラスが毎日のようにゴミを食べに来るから、ツバメがカラスを怖がって来ないのだと思います。
金沢市立 富樫小学校	どうして減ったのかなと思って調べていくと、ツバメのエサ場である水田が減ったことや住宅の構造が巣を作りにくい形に変わったことが原因だとわかりました。
金沢市立 木曳野小学校	田んぼや畑をつぶして、新しい住宅が建ったのでツバメが住みにくい環境になったと思います。新しい住宅はのき下がないからだと思います。
金沢市立 伏見台小学校	地域の方は、「昔はたくさんいたけど、田んぼが無くなって見なくなった。」と言っていたので、ツバメの増減は田んぼと関わりがあるということがわかりました。でも何の関係かなと思ってお姉ちゃんに聞いてみると、「田んぼには、ツバメのエサになる虫がたくさんいるから。」と教えてくれました。
白山市立 東明小学校	2時間探し歩いても、ツバメはいませんでした。新しい家が多く、車もいっぱい走っているので、ツバメが住みにくいのかな。と思いました。でも、地域の方はみんなツバメを歓迎していました。町の緑を増やして、世界中で一番ツバメが住みやすい場所にしたいです。

金沢市立 十一屋小学校	私の調査した地域にツバメはいませんでした。他の地域にはいたそうです。マンションやアパートばかりだからいないのかなと思いました。
金沢市立 扇台小学校	ツバメが減っている理由は、ツバメが巣を作りにくい、現代の家の造りに関係していることが分かりました。
七尾市立 中島小学校	「カラスが卵を食べるからかわいそうで入れてあげられない。」「ヘビがヒナを食べるので入れてあげたくても入れられない。」などと言う声が多数ありました。ツバメを中に入れてあげないのも使用中の巣が少ない原因だと思います。

カラスやヘビばかりがツバメの減った理由ではないことがわかりましたね。
現在の人間が生きていくうえで必要なこと、人間の都合で昔からの環境を変えてしまったこと。たとえば、家の建て方や、窓をあけておけない状況、町を広げるために、水田や、畑をこわすこと。などなど、ツバメが住みにくい世の中になってきていることが分かってきました。そんな中でも、地域の方々は、一生懸命ツバメを守るために工夫しているようです。どんな工夫がありましたか？

加賀市立 山代小学校	地域では、カラスの嫌いな色（黄色い物）を巣の近くにぶらさげて、ツバメを守る工夫をしていました。
小松市立 中海小学校	地域の人は、ツバメの巣がカラスに壊されないように、巣のまわりに糸を張ってツバメを守っていました。
金沢市立 中村町小学校	ツバメの巣が壊れかけていたので、紙粘土を使って、巣を直してあるところがありました。
珠洲市立 若山小学校	家の中に巣がある地域の方は、一番上のガラスを1枚だけはずして、ツバメが通るのに丁度いい大きさの出入り口を作っていました。
羽咋市立 瑞穂小学校	木箱で巣を作ったけど、ツバメは来なかったとっていました。その言葉に強く心を打たれました。カラスから守るために、ツバメの巣の前に立っているおばさんもいました。
七尾市立 田鶴浜小学校	地域の人たちは、ツバメが来るように、窓を開けたり、シャッターを開けたりして、ツバメが来るのを喜んでくれていたのでうれしかったです。
七尾市立 小丸山小学校	車庫にツバメの巣があって、ツバメが入れるようにドアを開けていました。でもネコが入れないように柵をしてありました。ヘビにねらわれないように、巣の周りにビニールをつるしていました。
金沢市立 金石町小学校	ツバメが入ってこられるように、「ツバメが入ります。ドアを閉めないでください。」という張り紙がしてあり、ツバメのことを考えて工夫していると思いました。
志賀町立 高浜小学校	ツバメ調査をして、予想以上にツバメの巣があって、調べたかいがありました。ツバメが家の中にいる場合は、窓や戸を開けて、ツバメ専用の窓を作っている方もいました。
金沢市立 三馬小学校	車庫に巣のある家の方は、ネコが車にのって巣を壊そうとするので、車の駐車場所を巣から離してネコから守る工夫していました。思いやりがあるなと思いました。
白山市立 朝日小学校	ツバメがいる間は、車庫に車を止めないと言っていました。理由は、ネコが車に登って、ツバメのヒナを食べてしまうからだそうです。
宝達志水町立 押水第一小学校	ツバメを守るために、ネコが好きだけど、ネコを飼わないようにしている人がいました。すごいと思いました。
宝達志水町立 志雄小学校	ツバメの巣がある家では、カサをつり下げたり、フンで汚れないように新聞紙を敷いたり工夫していました。それらの工夫をみて、地域の人たちも良い環境を作っていこうと努力しているんだなと思いました。

加賀市立 湖北小学校	ツバメの巣は車庫に多く作られていました。ツバメが巣を作りやすいように、巣を支えるように板が打ちつけてありました。蛍光灯のところにツバメの巣がありました。
小松市立 荒屋小学校	ツバメの巣がある家は、カサを逆さまにつるしてありました。たぶん、フンが落ちてこないようにしているんだと思いました。
金沢市立 泉野小学校	僕が見つけたツバメの巣は、ガレージの中がありました。そこに住んでいる人は、「ツバメのヒナは、カラスやネコが入ってくると、とっても大きな声でなくので、カラスやネコが入らないように、ツバメしか入れないくらいの穴を高いところに作ってあげているのよ。」とっていました。4年連続でツバメが来ているそうです。
金沢市立 米丸小学校	カラスが入らないようにシャッターを閉めて、カラスに見つからない所の窓を開けて、ツバメだけを入れるようにしていました。



金沢市立 戸板小学校	「今年は、まだツバメを見かけていない。」という人がいて、ツバメの巣を作る時期や、来る時期は年によって、変わることが分かりました。「去年はココにつくっていたけど、今年は、ココだ。」と、巣の場所を教えてくださいました。なぜ年によって作る位置が変わるのかなと思いました。人間も動物も協力して良い環境を作っていきたいです。
宝達志水町立 相見小学校	今年は、ほとんどツバメが見つからないのはどうしたのかなと思ったら、まだ、渡り(南の国から日本に戻ってくる)の途中かもしれないと聞きました。
七尾市立 徳田小学校	ツバメの巣や巣の下を観察していると、巣の下にタマゴがありました。割れないようにそっと持ちました。ちょっとでも力を入れると、つぶれそうでした。こんなに小さなタマゴからあんなに大きくなるんだな。と思いました。
野々市町立 御園小学校	ツバメの巣は、ほとんど納屋の中がありました。ヒナの体は灰色で親と比べると、「月とすっぽん」ほど違いがあるなと思いました。
加賀市立 三木小学校	ツバメは自分が作った巣に戻ってくることが分かりました。
白山市立 朝日小学校	ツバメの体は小さいけれど、飛ぶスピードは早かったです。羽の形がかわっていたと思いました。

皆さんは調査中約 19,000 人の地域の方々に、「ツバメを歓迎しますか？」とインタビューしてくれましたね。良い経験になったと思います。どんなお話を聞くことができましたか？

子どもツバメ
サミット



かほく市立 高松小学校	「ツバメは長い旅から帰ってきたんだから、歓迎しないとかわいそう。」という意見がありました。たしかに、海を越え 2,500 km の旅をして日本に帰ってくると書いてあったので感心しましたし、驚きました。
金沢市立 田上小学校	地域の人に「ツバメは好きですか？」と聞くと、ほとんどの人が「好きです。」と答えてくれました。みんな優しいと思いました。ツバメが歓迎される優しい町にしていきたいです。
羽咋市立 粟ノ保小学校	自分たちの食べている米を守ってくれるので、町に来てくるのは大歓迎です。と聞きました。
七尾市立 田鶴浜小学校	ツバメがヒナにエサをあげているところを見ました。虫が少なくなると畑の野菜がいい野菜になるのでありがたいと思いました。
白山市立 蝶屋小学校	ツバメはあまり見つからなかったけど、地域の人に、ツバメを歓迎している理由を聞くと「ツバメは害虫を食べるから。」と言っていました。
かほく市立 宇ノ気小学校	地域の人に歓迎する理由を質問してみると、「かわいいから、心がなごむから。」と言っていました。「なるほど」と同感しました。
加賀市立 分校小学校	巣がある家の方は、カラスがこないように、カラスの嫌いな色を巣の近くにおいていました。ツバメは「いやしの鳥」だということが分かりました。
金沢市立 伏見台小学校	「ツバメは春の使者です。」とか、「巣をつくってくれるのが一番の幸せです。」とあって、地域の人たちはツバメを歓迎していました。深い考えを持っていてすごいなと思いました。

子どもツバメ
サミット



地域の方々の温かい言葉がうれしかったですね。でも、ツバメを歓迎しない方々もいらっしゃるようです。その理由はなんでしたか？

かほく市立 七塚小学校	地域の方は「フンをおとしていくから、そうじが大変。」などの声がありました。私は歓迎します。だってツバメを受け入れてあげないと、ツバメだけでなく生きものすべてが住みにくい環境になってしまうからです。
金沢市立 中央小学校	コシアカツバメが運んでくる「ノミ」が原因で歓迎しなくなった。と聞きました。



歓迎しない理由として、「フンを落とすから。」が他の小学校からもたくさんあがっていました。自然の生きものと一緒に生活することは難しいこともありますね。さて、皆さんは、調査してうれしかったこと。残念だったことがありましたか？

能登町立 宇出津小学校	地域の方が、インタビューにやさしく答えてくれて、「ご苦労様。」と言ってくれたのがうれしかったです。
能登町立 松波小学校	ツバメ調査をして、普段は会話をしない、地域の人とも話せて良かったと思いました。
内灘町立 鶴ヶ丘小学校	ツバメは空を飛んでいたけど、巣はみつきりませんでした。でも、パトロール隊のおじいさんがいろいろ教えてくれました。
穴水町立 穴水小学校	地域の方は、春になると、ツバメの鳴く声がしたら、戸を開けていると、必ず来ると言っていました。今年も来るかと待っていることはすばらしいと思いました。
加賀市立 片山津小学校	ツバメの巣がある家の人も、無い人もみんな、「ツバメが来てほしい。」と言うことにびっくりしました。「ツバメ調査です。」という「ツバメの巣はあそこにあるよ。」と、まだ何を聞きたいかを言っていないのに、ツバメについて教えてくれました。「ツバメ調査」は伝統になっているんだなと感じました。ツバメのことで地域とつながっていきたいです。
津幡町立 河合谷小学校	ツバメの巣があった家が留守でシールをはれなかったのが残念でした。でも、去年はなかった家にツバメの巣ができていたのでうれしかったです。
野々市町立 野々市小学校	ツバメはいっぱいいたけど、その家の人がいなくて、シールをはって良いかどうか聞くことができずに、あまりシールがはれなくて残念でした。
金沢市立 中村町小学校	ツバメがたくさんいると思って、ワクワクしながら探していたけど、見つかりませんでした。先生が、「0でも大事な結果だよ。」と言ってくれたので少し励ましになりました。でも探しても、探してもいなかったのがくやしかったです。
能美市立 宮竹小学校	調査をしているとき、おじいちゃん、おばあちゃんはニコニコと笑っていました。シールを渡すと笑って受け取ってもらえて良かったです。



調査中に、地域の方々から声をかけてもらうのはうれしいですね。石川県は36年間の調査実績がありますから、5月になると、地域の方々も調査隊員の来訪を待っているのだと思います。「ツバメのシールがはれなくて残念だ。」という意見をたくさんもらいましたので、来年のシールには、留守宅のポストにいれておいて、後日、家の人に、シールをはってもらえるように工夫をしました。最後に、「まとめ」の意見をお願いします。



津幡町立 河合谷小学校	ツバメ調査をするのは、5年目です。以前調べた場所や、古巣だった所にツバメが来ていてうれしかったです。もっとツバメを見たいけど、ツバメだけ増えても良いことはないし、カラスなどの他の鳥も、居場所がなくなると困ると思います。なので、生きものは平等の量で生活をしなきゃなーと思いました。
輪島市立 鶴巣小学校	ツバメの親子をみたら、自然を大事にしないといけないと思いました。ツバメたちを自分の手で守ってみようと思いました。
輪島市立 三井小学校	ツバメを歓迎している人のだいたいは「虫を食べてくれるから。」とっていました。巣を作っているツバメを初めてみて、親ツバメは私の母のように一生懸命我が家を守っていました。その様子を見て、「親ツバメはすごいな。」と思い感動しました。
小松市立 荒屋小学校	ツバメ調査をする前は、なんでこんな調査をしなきゃいけないんだろうと思ったけど、ツバメのことを深く考えるいいチャンスになりました。
白山市立 鳥越小学校	ツバメが減ってきていることが分かりました。減ったのは、環境が変わってきているからだと思いました。環境が変わったのは人間のせいだと思います。地球・人間・ツバメはみんなつながっているから、環境をこわしてはいけないと思います。これからは人間が環境をよくするために動かなくてはいけないと思いました。
能美市立 宮竹小学校	地域の人たちはツバメの巣があると愛らしい「親ばか？」のような目で温かく見守っていて、ツバメのためにいろいろと工夫している家もあり、ツバメは地域の人たちに愛されていました。ツバメのような、小さな命もこのように温かい目で見守り、みんなで「輪」になって命を守っていこう！と思いました。
金沢市立 小坂小学校	今、地球環境が破壊されて、動物や植物に生態系の変化が見られています。だから、ツバメのように身近な生きものを常に守っていかなければなりません。そのためには、地域が協力して生きものを守ることが大切だと思いました。僕たちはもちろん、巣が作られたお家の方々などと協力してツバメを守っていきたいです。
金沢市立 材木町小学校	ツバメ調査をすることで、町のつながりができるとと思います。近所の人たちと仲良くできたら、あいさつの数も増えて、町が明るく楽しくなっていくと思います。ツバメがいるだけでいろいろなことにつながっていくのだから、私たちの少しの工夫で、日本や世界まで変わっていくかもしれません。調査をしたことによって、ツバメと私たちが、本当はつながっていたことを知りました。



ツバメ議長より

石川のツバメ調査隊の皆さん、「子どもツバメサミット」に参加してくれてありがとう。皆さんからいただいた、2,000件の意見はすべて事務局で保管し、今後の調査の参考にしていきます。来年は、皆さんの後輩が調査をします。ツバメ調査の伝統を受け継いでいてほしいですね。今年調査した調査隊の皆さん、本当にお疲れ様でした。調査をがんばってくれてありがとう。これで「子どもツバメサミット」を閉会します。

最優秀賞



泉野小(金沢市)



優秀賞



飯田小(珠洲市)

佳作 (5点)



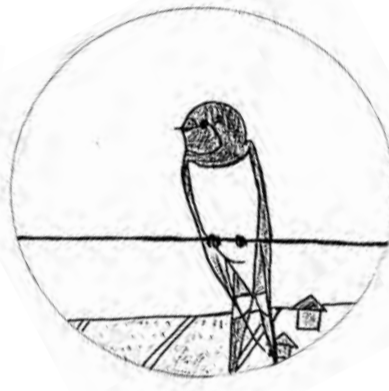
戸板小(金沢市)



西尾小(小松市)



石川小(白山市)



瑞徳小(羽咋市)



北星小(七尾市)



萩野台小(津幡町)



石川県健民運動推進本部



野々市小(野々市町)



山代小(加賀市)



粟ノ保小(羽咋市)



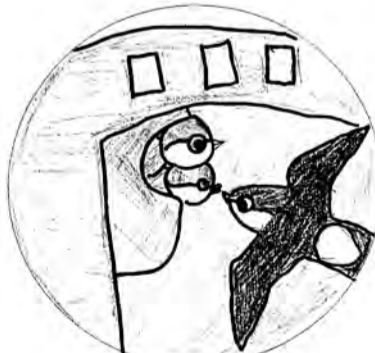
邑知小(羽咋市)



中村町小(金沢市)



錦城小(加賀市)



東谷口小(加賀市)



不動寺小(金沢市)



橘小(川北町)



田上小(金沢市)



朝日小(白山市)



荒屋小(小松市)



串小(小松市)